

日 本 史 B

(解答番号 1～40, 101～110)

{ I } 次の1～2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号1～7, 101～103)

1 奈良時代には、中央集権的な国家体制が整って富が中央に集められ、平城京を中心として高度な貴族文化が開花した。この時代の文化を天平文化といい、唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化となった。

天武天皇の時代にはじめられた国史編纂事業は、奈良時代に『古事記』、『日本書紀』として完成した。720(養老4)年にできた『日本書紀』は が中心となって編纂したもので、中国の歴史書の体裁にならい漢文の編年体で書かれている。

日本古来の和歌も、天皇から民衆にいたるまで多くの人びとによってよまれた。『万葉集』は759(天平宝字3)年までの歌約4500首を収録した歌集で、宮廷の歌人だけでなく東国の民衆たちがよんだ東歌や防人歌などもある。心情を率直にあらわしており、心に強く訴える歌が多くみられる。

教育機関としては、官吏養成のために中央に , 地方に国学がおかれた。学生は を修了し、さらに試験に合格してようやく官人となった。

問 1 空欄(1)に入る適切な人物名を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 101)

問 2 空欄(2)に入る適切な用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 102)

問 3 空欄(2)で学ぶ教科のうち、『論語』など儒教の經典に関するものを何というか。下記から最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 1)

- A 紀伝道 B 陰陽道 C 明經道
D 明法道 E 修驗道

問 4 下線部(ア)に関連して、奈良時代の兵士・兵役について記述した文章として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 2)

- A 792(延暦 11)年に一部の地域を除いて軍団や兵士を廃止し、かわりに志願による少数精鋭の健児を採用した。
B 兵士は成人男性 10 人に 1 人の割で徴発された。
C 兵士の武器や食料も自弁が原則であることから、民衆には大きな負担であった。
D 兵士は諸国の軍団で訓練を受けた。
E 防人は九州の沿岸を守るために大宰府に属した。

問 5 下線部(イ)に関連して、「瓜食めば子供思ほゆ栗食めばまして偲はゆ何処より来りしものそ眼交にもとな懸りて安眠し寝さぬ」の歌を詠んだ人物の名を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 3)

- A 柿本人麻呂 B 大伴家持 C 大伴旅人
D 山上憶良 E 額田王

2 平安期の貴族の生活に目を向けてみると、男性の正装は束帯やそれを簡略にした衣冠、女性の正装は唐衣や裳をつけた女房装束で、これらは唐風の服装を日本人向きにつくり変えたものだった。衣料はおもに絹を用い、文様や配色などにも日本風の意匠をこらした。^(ウ)

住宅は開放的な日本風の寝殿造^(エ)であり、そこに畳や円座をおいてすわる生活であった。食生活は比較的質素で、仏教の影響もあって獣肉は用いられず、調理に油を使うこともなく、食事は日に2回を基準とした。^(オ)

貴族は運命や吉凶を気にかけ、祈禱によって災厄をさけ、福を招くことにとめ、日常の行動にも吉凶にもとづく多くの制約が設けられていた。こうしてのぞんだ現世の富貴栄達が得られなかった時の失望は大きく、これもまた、彼らが来世をたのみに 教を信仰する一因となった。

問 6 空欄(3)に入る適切な用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 103)

問 7 空欄(3)に入る事項に関連して、当時の宗教や信仰について記述した文章として適切でないものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 4)

- A 人々は現世の不安から逃れるために阿弥陀仏を信仰し、来世において往生し、苦がなくなることを願った。
- B 北野神社や祇園社の祭りは、御霊信仰から生まれたものである。
- C 源信は『往生要集』を著して念仏往生の教えを説いた。
- D 本地垂迹説によれば、神は仏が仮に形を変えてこの世に現れたものであり、たとえば天照大神は阿弥陀如来の化身と考えられた。
- E 末法思想とは、釈迦の死後、正法・像法の世を経て末法の世がくるという説であった。

問 8 下線部(ウ)に関連して、絹を含む布や織物の歴史について、適切でないものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号5)

- A 鎌倉時代には農村で絹布や麻布などが織られるようになってきた。
- B 機織り技術は渡来人によって伝えられ、ヤマト政権は彼らを錦織部という技術者集団に組織した。
- C 室町期には加賀や丹後で絹織物が特産物として生産されるようになった。
- D 律令国家が調として正丁に課していたものには絹が含まれていた。
- E 木綿は17世紀以降に明から大量に輸入されるようになり、人々の生活様式に大きな影響をあたえた。

問 9 下線部(エ)に関連して、寝殿造に関連しない項目を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号6)

- A 巨勢金岡
- B 東三条殿
- C 檜皮葺
- D 大和絵
- E 唐様

問10 下線部(オ)に関連して、日本において一日三食となったとされている時期を下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号7)

- A 中世初期
- B 中世後期～近世初期
- C 近代初期

〔Ⅱ〕 次の1～2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号8～16, 104)

1 以仁王の令旨に応え、反平氏の諸勢力のうち東国の武士団は武家の棟梁で源氏の嫡流である頼朝のもとに結集し、もっとも有力な勢力に成長した。頼朝は挙兵後まもなく、相模の鎌倉を根拠地として広く主従関係の確立につとめ、関東の荘園・公領を支配して (1) の所領支配を保障していった。

1185(文治元)年、平氏の滅亡後、頼朝の強大化を恐れた後白河法皇が義経に頼朝追討を命じると、頼朝は軍勢を京都に送って法皇にせまり、諸国に守護を、荘園や公領には地頭を任命する権利などを獲得した。頼朝の支配権は西国にもおよび、武家政権としての鎌倉幕府が確立した。

その後、頼朝は逃亡した義経をかくまったとして奥州藤原氏を滅ぼすと、1190(建久元)年には念願の上洛が実現して右近衛大将となり、1192(建久3)年、後白河法皇の死後には征夷大將軍に任ぜられた。

1219(承久元)年、源実朝が頼家の遺児 (2) に暗殺されたのち、鎌倉幕府は頼朝の遠縁にあたる摂関家出身の幼い (3) を後継者にむかえた。

問 1 空欄(1)に入る適切な用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 104)

問 2 空欄(2)および空欄(3)に入る適切な人物名を下記の共通語群の中から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄(2)の解答番号を8とし、以下番号順に解答欄にマークすること。(解答番号8～9)

[共通語群]

- | | | | |
|--------|------|--------|--------|
| A 義家 | B 一幡 | C 藤原頼経 | D 範頼 |
| E 九条兼実 | F 公暁 | G 藤原頼嗣 | H 宗尊親王 |

問 3 下線部(ケ)に関連する事項として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 10)

- A 1179(治承3)年、平清盛によって鳥羽殿に幽閉されたが、その間も院政は行われていた。
- B 保元の乱で崇徳上皇側を破って勝利したが、わずか3年で讓位し、その後、一時の中断もあったが、5天皇の代にわたって院政を行った。
- C 1183(寿永2)年、源頼朝は後白河法皇と交渉の後、東海・東山両道の東国の支配権の承認を得ることに成功した。
- D 民間の流行歌謡である今様を学び、みづから『梁塵秘抄』を編んだ。
- E 長講堂に寄進した荘園群は鎌倉時代初めには90カ所にも上り、のちに持明院統に継承され、その経済的基盤となった。

問 4 下線部(イ)に関連する事項として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 11)

- A 秀衡の死後、子の泰衡は頼朝の要求にもかかわらず、義経に温情を与え、かくまっていた。
- B 清衡・基衡・秀衡の3代100年にわたって繁栄を誇った。
- C 金や馬などの物産の富を背景に平泉を中心に繁栄し、北海道など北方の産物を都にもたらず働きをしたとされる。
- D 中尊寺金色堂や毛越寺などの豪華な寺院を建立した。
- E 初代清衡は、後三年の役を経て平泉に居を構え、奥羽地方に勢力を伸ばしていった。

2 足利義政は、応仁の乱後、京都の東山に山荘を作り、そこに義満にならって銀閣を建てた。^(ウ)この時期の文化は東山文化と称され、禅の精神にもとづく簡素さと、^(エ)伝統文化の幽玄・侘を精神的な基調としていた。

茶道・花道の基礎も、この時代につくられた。茶の湯では (4) が茶と禅の精神の統一を主張し、茶室で心の静けさを求める侘茶を創出した。生花も座敷の床の間をかざる立花様式が定まり、床の間をかざる花そのものを鑑賞する形がつくられていった。

茶道はその後、堺の千利休が侘茶の様式を完成させ、発展していった。侘茶^(オ)は簡素・閑寂を精神とし、華やかな桃山文化のなかにあつて異彩を放っていた。豊臣秀吉や諸大名の保護を受けて大いに流行し、茶室、茶器、庭園にすぐれたものがつくられ、花道や香道も発達した。

問 5 空欄(4)に入る適切な人物名を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 12)

- A 池坊専慶 B 武野紹鷗 C 山崎宗鑑
D 古田織部 E 村田珠光

問 6 下線部(ウ)に関連する事項として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 13)

- A 京都で戦いに明け暮れる守護大名に代わって、守護代や有力国人が勢力を伸ばし、領国支配の実権を握るようになっていった。
B 戦いの発端は、有力守護大名である畠山氏、斯波氏双方に起こった家督争いであった。
C 足利義政の弟義視の側には山名持豊(西軍)が、義政の子義尚の側には細川勝元(東軍)がつき、戦いが激化する一方で、義政は終始、中立を保ち、失墜を余儀なくされた。
D 応仁の乱の背景には、当時、嫡子の立場が庶子に比べて絶対的に優位になる単独相続がはじまっていたことがある。
E 1467(応仁元)年から1477(文明9)年までの足かけ11年間に及び、京都の町は焦土と化した。

問 7 下線部(エ)に関連して、東山文化とは関連しない項目を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 14)

- A 明 珍 B 書院造 C 善阿弥
D 枯山水 E 土佐光信

問 8 下線部(カ)に関連する事項として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 15)

- A 千利休は織田信長、のちに豊臣秀吉に重用され、秀吉が 1587(天正 15)年に開いた茶会(北野大茶湯)をつかさどった。
B 千利休は、「茶の湯とはただ湯をわかし茶をたててのむばかりなることと知るべし」という歌を詠んでいる。
C 臨済宗の禅院妙喜庵の茶室は、秀吉の命を受けた千利休の趣向によると伝えられる。
D 茶会(北野大茶湯)には、千利休、今井宗久、津田宗及らの茶人のほか、茶を愛好する武将が参加したが、一般民衆の参加は許されなかった。
E 朝鮮出兵によって連れてこられた朝鮮の陶工によって有田焼、薩摩焼がはじめられ、茶席で用いる茶碗などがつくられた。

問 9 下線部(カ)に関連して、桃山文化の代表的作品とその作者の組み合わせとして間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 16)

- A 山水図屏風—海北友松
B 唐獅子図屏風—狩野永徳
C 智積院襖絵—長谷川久蔵
D 花下遊樂図屏風—狩野吉信
E 松林図屏風—長谷川等伯

〔Ⅲ〕 次の1～5の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号17～24, 105～106)

- 江戸幕府は交通の整備を行い、東海道・中山道・甲州道中・道中・奥州道中の五街道を直轄とし、2～3里ごとに宿場(宿駅)をおいた。東海道には江戸・京都間に品川から大津まで53宿、大津から分かれて大坂までのあいだに4宿、中山道はから守山まで67宿が設けられた。
- 幕府は金座・銀座・をおき、金・銀・銭の三貨を鑄造したが、大名や旗本も領内で通用する (紙幣)を発行した。1609(慶長14)年には、換算率は金1両=4分、1分=4朱と4進法で行われ、銀1貫=1000匁、銭1貫=1000文、金1両=銀匁=銭4貫文と公定されたが、実際には時期によりかなり変動した。
- 江戸時代に書かれた農業技術書は農書と呼ばれているが、そのなかで最も古い農書はといわれている。
- 江戸時代には農具も発達し、深耕用の備中鍬、脱穀用のが普及した。また穀類の選別用にはが普及した。
- 江戸時代の徳川幕府による直轄領は元禄期におよそ万石前後あったが、17世紀末頃から幕領の年貢収納率が低下してきたため、幕府は収納を安定化させるため、を広く採り入れた。

問1 空欄(1)に入る適切な用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号105)

問2 空欄(2)に入る適切な地名を下記から一つ選んで、その記号を解答欄に

マークせよ。(解答番号17)

A 日本橋

B 板橋

C 栗橋

D 上野

E 川越

問 3 空欄(3)に入る適切な用語を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 18)

- A 銭 座 B 銅 座 C 真鍮座
D 鉄 座 E 秤 座

問 4 空欄(4)に入る適切な用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字 2 文字で記入せよ。(解答番号 106)

問 5 空欄(5)に入る適切な数字を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 19)

- A 20 B 40 C 50
D 60 E 100

問 6 空欄(6)に入る適切な書名を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 20)

- A 農業全書 B 農政本論 C 広益国産考
D 清良記 E 農具便利論

問 7 空欄(7)および空欄(8)に入る適切な用語を下記の共通語群の中から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄(7)の解答番号を 21 とし、以下番号順に解答欄にマークすること。(解答番号 21～22)

[共通語群]

- A 唐 箕 B 踏 車 C 風呂鍬
D 千歯扱 E 竜骨車

問 8 空欄(9)に入る適切な数字を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 23)

- A 50 B 100 C 200
D 300 E 400

問 9 空欄(10)に入る適切な用語を下記から一つ選んで、その記号を解答欄に
マークせよ。(解答番号 24)

A 検見法

B 上げ米

C 定免法

D 貫高制

E 石高制

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔IV〕 次の1・2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 25～32, 107～108)

1 第1次世界大戦終了後、戦勝国側では建艦競争が再燃し、国家財政を圧迫したため軍縮が求められるようになり、また、アジア・太平洋地域における大国間の利害調整が必要になった。そのため、 会議が1921～1922(大正10～11)年に開催され、主力艦・航空母艦の保有制限を定めた 海軍軍縮条約、太平洋の現状維持のための四か国条約、中国の主権の尊重と門戸開放・機会均等を定めた九か国条約などが調印された。四か国条約によって日英同盟が廃棄され、九か国条約により石井・ランシング協定が廃棄されるとともに、山東半島の旧ドイツ権益が中国に返還されることになった。 会議で定められた諸条約に基づく、軍縮と列国の強調を基礎にしたアジア・太平洋地域における国際秩序を 体制という。

日本はイギリス・フランス・イタリアとともに国際連盟の4常任理事国の一角を占め、国際政治における発言権を強めた。1920年代前半においては、一部でアメリカとの対立はあったものの、日本も英米との協調外交の路線をとり、1928(昭和3)年には で15か国が調印し、国策の手段としての戦争を放棄した不戦条約にも参加した。日本は1927(昭和2)年の 軍縮会議(不成立)、1930(昭和5)年の 海軍軍縮会議にも参加して、 体制を維持する路線をとったが、1929(昭和4)年に調印された俘虜(捕虜)の待遇に関する 条約は、捕虜になることを否定する軍部の反対によって批准せず、しだいに英米中心の国際秩序に対する反発を強め、独自の路線を歩むようになる。

問 1 空欄(1)に入る用語を解答用紙裏面の解答欄に答えよ。(解答番号 107)

問 2 空欄(2)～(4)に入る地名は何か、下記の共通語群の中から最も適する地名をそれぞれ一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄(2)の解答番号を 25 とし、以下番号順に解答欄にマークすること。

(解答番号 25～27)

[共通語群]

- | | | |
|----------|---------|--------|
| A ヴェルサイユ | B ジュネーヴ | C ハーグ |
| D パリ | E 北京 | F ベルリン |
| G ポーツマス | H ローマ | I ロンドン |

問 3 下線部(ア)の条約の参加国として誤っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 28)

- | | | |
|--------|---------|--------|
| A イタリア | B オランダ | C 中国 |
| D スペイン | E ポルトガル | F ベルギー |

問 4 下線部(イ)に関連して、1931(昭和 6)年の満州事変以降、1933(昭和 8)年の国際連盟脱退により日本が国際的に孤立する過程で起こった出来事に關する記述として適切でないものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 29)

- A 関東軍の板垣征四郎や石原莞爾らが奉天郊外の盧溝橋で満鉄線を部下に爆破させた。
- B 中国は、満州事変が日本による侵略行為であると国際連盟に提訴し、国際連盟はリットン調査団を派遣した。
- C リットン調査団の報告書によれば、満州国建国が独立運動の結果ではないとしながら、満州における日本の特殊權益を承認し、日中間に満州に關する条約締結を提案した。
- D 1932(昭和 7)年、齋藤実内閣は、日満議定書を結んで満州国を承認した。
- E 1933(昭和 8)年 2 月、国際連盟臨時総会は、日本による満州国承認という行動を撤回することの勧告を、賛成 42・反対 1・棄権 1 の圧倒的多数で採択した。

2 1918(大正7)年9月、米騒動で寺内正毅内閣が倒れると、元老の山県有朋らは、民意を反映した内閣としての政党内閣を認めざるをえなくなり、後継首相に立憲政友会の総裁 (5) を推した。(5) 内閣は、外務・陸軍・海軍の3大臣を除いた閣僚が、政友会に所属する衆議院議員で構成された本格的な政党内閣であった。このころ、普通選挙運動が高まるなか、1920(大正9)年2月、野党の憲政会が普通選挙法案を議会に提出したが、同内閣は時期尚早であるとして法案に反対し、議会を解散して、党勢拡大を図るために自ら導入した小選挙区制に基づく選挙を実施し、勝利した。しかし、大規模な軍拡と1920年恐慌(戦後恐慌)により積極財政政策は挫折し、汚職事件も重なって国民の不満が高まり、1921(大正10)年11月に (5) が暗殺されるに至った。

(5) 内閣をついだ高橋是清内閣は政友会の内紛で半年ほどで倒れ、以後、官僚主体の非政党内閣が続いた。つづいて1924(大正13)年1月に枢密院議長であった清浦奎吾が貴族院議員を中心とした内閣を組織した。政友会は内閣支持派の政友本党と反対派の政友会に分裂し、政友会と野党の憲政会・革新倶楽部は、護憲三派を構成して第2次護憲運動をおこし、清浦内閣と厳しく対立した。同年5月の総選挙の結果、普通選挙実現と貴族院改革をとらえた護憲三派が勝利し、憲政会総裁加藤高明^(ウ)を首相とする護憲三派内閣が成立した。以降、1932(昭和7)年の (6) 事件まで、元老である西園寺公望も政党の力を尊重し、原則として衆議院の多数党の党首を後継首相に推薦し、政党内閣が^(ニ)政権を担当することが慣例となった。この時期は二大政党である憲政会(のち立憲民政党)と政友会が交互に政権を担当した。

問5 空欄(5)に入る適切な人物名を下記の中から一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号30)

- | | | |
|-------|---------|---------|
| A 犬養毅 | B 加藤友三郎 | C 浜口雄幸 |
| D 原敬 | E 山本権兵衛 | F 若槻礼次郎 |

問 6 空欄(6)に入る適切な用語を下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 31)

- A 血盟団 B 二・二六 C 三・一五
D 四・一六 E 五・一五 F 十 月

問 7 下線部(ウ)に関連して、護憲三派内閣が 1925(大正 14)年 3 月に成立させた普通選挙法に関する記述として適切でないものを下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 32)

- A 26 歳以上の男性には納税の有無にかかわらず、衆議院議員選挙権が与えられた。
B 有権者数はそれまでの約 4 倍の 1200 万人に増え、全人口比の 2 割を超えた。
C 普通選挙法に基づく最初の衆議院議員総選挙は、1928(昭和 3)年 2 月、政友会の田中義一内閣のもとで行われた。
D 当時、市川房枝らによって結成された婦人参政権獲得期成同盟会などの運動が存在したが、女性の参政権は許容されなかった。
E 普通選挙法と同じ年に治安維持法が成立した。

問 8 下線部(エ)の慣例は、当時何と呼ばれていたか。その語句を解答用紙裏面の解答欄に答えよ。(解答番号 108)

[V] 次の1～5の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 33～40, 109～110)

- 1 1945(昭和20)年10月、幣原喜重郎内閣は、GHQに憲法改正を指示され、憲法問題調査委員会を政府内に設置した。しかし、同委員会作成の改正試案は保守的なものだったため、GHQはみずから改正草案を作成して、1946(昭和21)年2月に日本政府に提示した。政府はこれにやや手を加えて和訳したものを政府原案として発表した。新憲法制定は手続き上、大日本帝国憲法を改正する形式をとり、改正案は衆議院と貴族院で修正可決されたのち、日本国憲法として1946(昭和21)年 3日に公布され、1947(昭和22)年 3日に施行された。

問1 空欄(1)～(2)に入るのは何月か、下記の共通語群の中から最も適するものをそれぞれ一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、空欄(1)の解答番号を33とし、以下番号順に解答欄にマークすること。

(解答番号 33～34)

[共通語群]

A 1月

B 3月

C 5月

D 7月

E 9月

F 11月

- 2 米ソの冷戦は、1950年代以降の日本の国内政治や社会運動にも大きな影響を与えた。サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約で左右に分裂していた社会党が統一され、これに対抗するために強力な保守政党の成立を望む財界の要望に後押しされて、保守合同で自由民主党が結成され、議会で保守・革新勢力が対立しつつも、自民党が単独で内閣を組織する政治体制が成立した。
(イ)

問2 下線部(イ)の初代総裁に選出されたのは誰か。その人物名を下記の中から一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 35)

A 芦田均

B 石橋湛山

C 片山哲

D 岸信介

E 鳩山一郎

F 吉田茂

問 3 下線部(イ)の体制を何というか。その用語を解答用紙裏面の解答欄に答えよ。(解答番号 109)

3 1955～73(昭和 30～48)年の 20 年近くのあいだ、日本経済は成長率が年平均に換算すると を超える急テンポの成長を続け(高度経済成長)、1968(昭和 43)年には、国民総生産(GNP)で資本主義諸国ではアメリカにつぐ第 2 位に達した。

問 4 空欄(3)に入る数値として最も適切なものを下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 36)

A 5% B 10% C 15% D 20%

問 5 下線部(ウ)に関する記述として適切でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 37)

A 鉄鋼・造船・自動車・電気機械・化学などの部門が海外の技術革新の成果を取り入れ、低コスト・高品質の工業製品の大量生産体制が整備された。

B 産業構造が高度化し、第一次産業の比重が下がって、第二次・第三次産業の地位が高まった。

C 石油から原子力へのエネルギー転換が急速に進んだ。

D 生産の急速な増大を受け止めたのは国内市場と輸出の拡大であった。

E 農業でも化学肥料・農薬・農業機械の普及で生産力は上昇した。

4 高度経済成長の達成の裏面には深刻な問題が生み出された。農村部では過疎化の進行が農村の共同社会としての機能を衰弱させ、また米をわずかな例外として、日本の は急激に低下した。他方、過密が深刻になった都市では、交通渋滞や騒音・大気汚染が発生し、住宅や病院は不足した。また、企業が汚染物質を長期間たれ流して環境を破壊したのに対し、経済成長を優先する政府の公害対策は進まず、公害病に苦しむ被害者は長らく放置されていた。

(エ)

問 6 空欄(4)に入る用語は何か。その用語を解答用紙裏面の解答欄に漢字 5 文字で答えよ。(解答番号 110)

問 7 下線部(エ)に関して、1971(昭和 46)年に発足した組織は何か。最も適切なものを下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 38)

- A 環境庁 B 公害等調整委員会 C 消費者庁
D 資源エネルギー庁 E 中央公害審査委員会

5 日本や西ドイツの経済成長やヴェトナム戦争に伴う巨額の軍事支出によって、アメリカの経済力は相対的に低下し、1960年代にアメリカの貿易収支は悪化した。そのため、1971(昭和 46)年にアメリカはドルと金の交換を停止し、先進各国はドルの切り下げを認めた。1973(昭和 48)年には変動為替相場制に移行し、体制は崩壊した。以降、急速な円高が進行した。

問 8 空欄(5)に入る用語は何か。最も適切なものを下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 39)

- A スミソニアン B プラザ
C プレトン=ウッズ D ベレストロイカ
E GATT

問 9 下線部(オ)に関して、1971(昭和 46)年末に 10 か国蔵相会議の結果、通貨調整を行ったが、円を 1 ドルいくらに切り上げたか。最も適切なものを下記の中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 40)

- A 104 円 B 176 円 C 277 円
D 308 円 E 360 円